



練馬東小だより

平成27年12月25日

臨時特別号

校長 渡邊 万里子

平成27年度 学力調査（5年生・6年生）及び体力調査の結果のお知らせ

今年度の学力調査及び体力調査の結果をお知らせいたします。今後は、調査結果をもとに、本校児童の学習や体力の状況に応じた授業や取組を実施していきます。以下は、学力調査、体力調査の結果ならびに分析、改善策です。

【第6学年】（4月21日実施）

1 全国学力・学習状況調査 ○上回ったところ △課題 →改善策

（1）国語

A 主として知識（評価の観点別 平均正答率%）

	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	国語全体
練馬東小	64.8	93.4	61.3	81.1	75.3
東京都	57.4	87.7	59.0	78.6	72.3
全国	53.0	86.0	55.2	77.2	70.0

○ 全ての領域について全国及び東京都の平均正答率を上回っています。言語の「漢字を書く」では全国及び都平均正答率を10%も上回る問題や主語と述語の関係を問う設問の正答率が高くなっています。

△ 平均正答率は全国及び都平均を上回っていますが、正答数で見るとバラツキが見られました。

→ 今後は、繰り返し学習をすることを通して知識を定着させるための指導や、実態に応じて個別支援の取り組みを行っていきます。

B 主として活用（評価の観点別 平均正答率%）

	関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	国語全体
練馬東小	56.6	64.3	69.8	67.8
東京都	55.7	62.2	68.6	66.5
全国	55.4	61.1	68.1	65.4

○ 全ての観点について全国や都の平均正答率を上回っています。

△ 問題形式として「選択式」「短答式」「記述式」があり、どの観点も「短答式」や「記述式」を苦手としている傾向がみられます。また、「記述式」や「短答式」の無回答率が全国や都よりも高いことがわかりました。

→ 「書く能力」では、他教科でも自分の考えを書く活動を意識した授業や、辞書引きなどを通して語彙を増やすなどスモールステップを踏んだ活動の充実をはかります。

(2) 算数

A 主として知識 (評価の観点別 平均正答率%)

	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	算数全体
練馬東小	81.5	82.1	81.8
東京都	78.2	76.8	77.4
全国	77.2	73.6	75.2

- 全国や都の平均を上回っています。数量に関する技能の問題では特に正答率が高くなっています。
- △ 分度器を使用する問題のみ、全国や都の平均を下回りました。
- 習熟度別学習を生かして、分度器などの学習用具を活用した活動を充実させ、確実に理解させる授業をしていきます。

B 主として活用 (評価の観点別 平均正答率%)

	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	算数全体
練馬東小	41.6	64.8	78.0	50.8
東京都	38.6	60.7	76.2	47.8
全国	35.3	58.7	74.9	45.0

- 全ての観点で全国や都の平均正答率を上回っています。
- △ 「算数的な考え方」の観点ではどの領域でも全国や都の平均正答率を下回る問題がありました。また「分からない」「できない」ことに対して解答にたどり着くまで考えようとせず、無回答率が高くなっています。
- 今後も、授業で考えを伝え合う活動を意図的に設定し理解を深めるとともに、既習内容を活用できるよう、ふり返りができるノート指導に取り組んでいきます。

(3) 理科

(評価の観点別 平均正答率%)

	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	理科全体
練馬東小	54.2	64.0	72.0	65.5
東京都	50.9	57.1	69.0	62.4
全国	47.8	55.5	68.6	60.8

- 全ての観点で全国や都の平均を上回っています。特に「観察・実験の技能」の観点が優れています。
- △ 学習したことを活用する問題では、9問中4問で全国や都の平均を下回りました。このことから知識として理解はしているが、実験や観察して調べた結果について考察する点が課題であることがわかりました。また、他教科同様、記述式の問題での無回答率が都や全国の平均を上回っています。
- 学習問題をしっかりと把握し、既習内容や生活体験を活用した予想や根拠をもとに実験・観察から得られたことを考察する授業の充実を図っていきます。

2 生活・意識調査 結果・考察

1段目：練東小に児童数の割合 (%)、2段目：都 (公立) の児童数の割合 (%)、3段目：全国 (公立) の児童数の割合 (%)

	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない
学校に行くのは楽しい と思いますか。	48.9	37.2	8.5	5.3
	54.7	31.1	9.2	4.9
	55.3	31.7	8.8	4.2

「当てはまる」「やや当てはまる」と答えた児童の割合は、都や全国の平均並みでした。すべての児童にとって学校が楽しくなるよう、一人一人に目を向け、引き続き努力していきます。

学校のきまりを守っていますか。	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない
	46.8	47.9	4.3	1.1
	37.0	51.8	9.7	1.6
	41.7	49.4	7.7	1.2

きまりを守っていると答えた児童の割合は、都や全国平均を上回りました。今後は自信をもってきまりを守っていると答えられるように、積み重ねを大切にしていきます。

友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない
	20.2	33.0	33.0	13.8
	21.2	29.7	32.7	16.4
	20.6	30.6	33.0	15.8

様々な場面で発表の機会を設定し、他者に伝えることで得られる達成感を味わわせて自信をもてるようにしていきます。

友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない
	62.8	28.7	7.4	1.1
	53.3	38.0	7.4	1.3
	55.8	37.7	6.1	1.0

今後も「聞くこと」は学習や生活の基本であるということを徹底して指導していきます。

家で、学校の授業の復習をしていますか。	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない
	14.9	38.3	36.2	10.6
	17.9	28.3	33.8	19.8
	23.3	31.2	30.6	14.8

「当てはまる」「やや当てはまる」と答えた児童の割合は53.2%、「やや当てはまらない」「当てはまらない」と答えた児童の割合は46.8%でした。家庭と連携しながら家庭学習の充実を図っていきます。

人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない
	77.7	19.1	1.1	2.1
	70.1	22.9	4.7	2.2
	71.6	22.1	4.3	1.9

「当てはまる」「やや当てはまる」と答えた児童の割合が96.8%で、都や全国平均を上回りました。今後も友達とのかかわりを通して、他者から認められる喜びを得られるような機会を大切にしていきます。

普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	30分より少ない	持っていない
	1.1	2.1	3.2	5.3	8.5	41.5	38.3
	3.2	2.5	4.1	7.4	12.3	38.4	31.9
	3.1	2.6	4.1	7.1	11.1	30.0	42.0

携帯電話やスマートフォンの使用時間の割合は、都や全国平均を下回りました。一方で、長時間使用している児童がいることもわかりました。児童に携帯電話やスマートフォンを持たせている家庭では、使用時間などの約束を決めることを大切にしてください。

【第5学年】（7月2日実施）

1 東京都 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果

（1）教科の内容・観点別の調査結果（正答率％）

	関心・意欲・態度		思考・判断・表現 (国語:話す・聞く)		技能 (国語:書く)		知識・理解 (国語:言語)		読む	
	練馬東小	東京都	練馬東小	東京都	練馬東小	東京都	練馬東小	東京都	練馬東小	東京都
国語	89.0	88.8	81.2	74.2	64.5	60.8	68.5	61.3	63.2	63.2
社会	88.3	89.1	59.7	59.9	75.8	67.7	50.9	44.3		
算数	70.1	80.2	62.6	59.9	71.4	68.5	70.8	69.5		
理科	89.0	92.0	55.8	58.9	76.6	72.0	75.1	73.2		

国語は、東京都の平均を上回りました。国語については意欲的に学習に取り組んでおり、かつ、学力も身に付いていることが分かります。しかし、社会、算数、理科の「関心・意欲・態度」は東京都の平均を下回りました。算数は、前学年までの学習の積み重ねが大切な教科で、学習の定着に自信がない児童が多くいると考えます。一人一人のつまずきに応じた学習方法を工夫したり、基本的な事項の反復学習を日常的に取り入れたりして、子供たちが「考えたい」「わかる」「楽しい」と思う授業をめざしていきます。社会や理科については、課題の設定を身近なものにしたり、考えたことを文章などで表現したりする機会を多くして、力を伸ばしていきます。

（2）読み解く力に関する内容・観点別の調査結果（正答率％）

	取り出す力		読み取る力		解決する力	
	練馬東小	東京都	練馬東小	東京都	練馬東小	東京都
国語	59.7	54.9	13.0	6.0	35.1	37.8
社会	54.5	57.2	46.8	52.4	31.2	32.6
算数	76.6	73.9	20.8	24.2	40.9	37.9
理科	57.8	59.9	45.5	55.5	52.6	55.8

国語については、都の平均を上回りました。しかし、文章で書き表す力が不足しているため、考えや思いを文章で表現する機会を多く取り入れていきます。社会と理科については東京都の平均を下回りました。課題や提示された資料の中から必要な情報を取り出したり読み取ったりした後、それを分かりやすく表現する力が不足していることがわかります。資料から読み取ったことをノートに言葉でまとめたり、友達に分かりやすく伝えたりする学習に力を入れていきます。算数については、問題を解決する力がありますが、問題場面を正確に読み取って筋道を立てて考えていく力が不足しています。日常の算数の授業の中でも、既習事項を生かして考えていく学習に力を入れていきます。

2 質問紙調査から 結果と考察

練馬東小の児童の割合（％）

① 家庭学習について

家庭で、宿題以外の学習をしていますか。	当てはまる	やや当てはまる	どちらともいえない	やや当てはまらない	当てはまらない
	7.8	16.9	46.8	22.1	6.5

家庭学習については、決められた宿題については行うが、自主学習のような自分で計画を立てて行う学習については習慣付いていない傾向が見られます。中学進学に向けても、自分で進められるような習慣を付けていくことが望ましいです。

② ルールを守ることについて

学校生活のルールを守っていますか。	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない
	62.3	29.9	6.5	1.3

「当てはまる」「やや当てはまる」を合わせると、全体の 92.2%で、ほとんどの児童がルールを守ることが大切だと感じ、守っていることが分かります。しかし、7.8%の児童が守っていない傾向があるので、引き続きモラルの向上を図っていきます。

③ 読書時間について

毎日読書をしていますか。	1時間以上	30分以上	30分未満	ほとんどしない	全くしない
	10.4	45.5	27.3	13.0	3.9

毎日読書を30分以上する児童が55.9%いました。しかし、全く読書をする事ができないと答えた児童は3.9%いました。朝読書や図書の学習を取り入れて、読書に親しむ時間を積極的に作っていきます。

④ 自己肯定感について

自分のことを大切な存在だと感じますか。	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	思わない
	52.0	31.2	10.4	6.5

「自分のことを大切な存在だと感じるか」の問いに、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」に83.2%の児童が答えました。しかし、16.9%の児童が否定的な回答をしています。自分の良いところを実感したり、自分のことを大切な存在だと感じたりするのは、周りの人からほめられたり認められたりすることがきっかけになることが多いのではないのでしょうか。学校では、一人一人の良さや努力を認める言葉をかけていきます。御家庭でも同じように言葉をかけて下さいますようお願いいたします。

⑤ 朝食について

朝食を毎日食べていますか。	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない
	83.1	9.1	5.2	2.6

朝食を食べる習慣は、学力の定着と相関関係があると言われています。朝食を毎朝必ず食べる児童は、83.1%でした。健康面からも朝食を食べる習慣を付けるように御家庭の協力をお願いします。

平成27年度東京都児童・生徒体力・運動能力 練馬東小学校結果報告

今年5月に行われた体力テストの結果について報告いたします。いくつかの種目においては、東京都の平均得点を上回るものもありましたが、どの学年も概ね都平均を下回る結果となりました。

本校は、全体的に投力と俊敏性の面で課題が見られます。下記に各学年の課題と今後の指導重点項目を示しました。来年度の体力テストでは、今回の課題が少しでも改善できるように、日々の体育の授業を工夫しながら取り組んでまいります。

平成27年度 練馬東小学校 体力の現状

	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	男子	女子										
握力	8.0	7.2	10.5	9.8	11.5	10.8	14.6	13.2	15.1	14.3	17.8	19.1
都平均	8.9	8.4	10.6	10.1	12.6	11.8	14.5	13.7	16.6	16.1	19.5	19.1
上体起こし	11.0	9.0	12.4	13.5	17.8	13.6	16.3	12.4	19.1	18.6	22.0	18.7
都平均	10.8	10.4	13.7	13.2	15.9	15.2	18.1	17.2	19.9	18.6	21.9	19.9
長座体前屈	25.5	28.5	25.0	31.5	27.9	30.2	31.8	33.3	35.3	41.5	32.8	40.2
都平均	25.4	28.3	27.3	30.5	29.3	32.9	31.5	35.6	33.5	38.1	35.8	40.9
反復横とび	22.8	22.0	24.3	25.3	30.3	29.7	34.0	32.4	40.9	38.0	39.1	38.9
都平均	26.2	25.3	30.3	28.9	34.1	32.4	37.9	36.1	41.9	39.6	45.1	42.1
20mシャトルラン	10.9	12.5	19.4	21.7	36.1	22.4	38.4	27.7	46.3	37.4	53.0	43.3
都平均	16.5	13.5	25.8	20.0	35.1	25.6	43.1	32.3	51.0	38.8	58.4	44.0
50m走	11.7	11.8	10.9	10.4	9.9	10.3	10.0	10.5	9.4	9.6	9.1	9.3
都平均	11.5	11.8	10.6	10.9	10.1	10.4	9.6	9.9	9.3	9.5	8.9	9.2
立ち幅とび	110.2	101.0	117.8	122.6	145.6	129.1	149.2	138.1	147.6	143.7	160.7	152.8
都平均	110.2	104.0	121.7	115.2	133.5	125.6	141.8	135.8	151.7	144.5	162.4	152.7
ソフトボール投げ	7.3	5.0	9.7	7.2	14.1	8.6	18.1	11.2	23.0	13.5	25.6	16.8
都平均	7.5	5.3	11.0	7.1	15.2	9.1	18.5	10.9	22.3	13.1	26.1	14.9

※網掛けの部分は、東京都の平均と比較し、本校の偏差値が上回った種目です。

1年生の結果概要

○女子は、長座体前屈が都平均より高い水準にあります。

●男子・女子ともに反復横とび、立ち幅とびの得点が低く、俊敏性や脚力に課題があります。

俊敏性と脚力の向上を目指します。楽しく運動できる鬼ごっこやかけっこ、ケンパーとび、ゴムとびを体育の授業の中に取り入れて脚力を高めます。

2年生の結果概要

○男子は、立ち幅とび、女子は、上体起こし、長座体前屈、20mシャトルラン、立ち幅とび、ソフトボール投げが都平均より高い水準にあります。

●男子は、20mシャトルランの得点が低く、持久力に課題があります。女子は、反復横とびの得点が低く、俊敏性に課題があります。

持久力と俊敏性の向上を目指します。持続的な短なわや持久走に取り組み、持久力を高めます。また、楽しく運動できる鬼ごっこやかけっこを体育の授業の中に取り入れて俊敏性を高めます。

3年生の結果概要

○男子は、上体起こし、20mシャトルラン、立ち幅とび、女子は、立ち幅とびが都平均より高い水準にあります。

●男子は、反復横とび、ソフトボール投げの得点が低く、俊敏性や投力に課題があります。女子は、反復横とび、20mシャトルラン、ソフトボール投げの得点が低く、俊敏性や持久力、投力に課題があります。

俊敏性と投力の向上を目指します。鬼ごっこやかけっこ、リレーを体育の授業の中に取り入れて俊敏性を高めます。また、全力でボールを投げる場面を増やし、体全体を使った大きなフォームで投げることを意識させます。

4年生の結果概要

○男子は、上体起こし、長座体前屈、立ち幅とび、ソフトボール投げ、女子は、上体起こし、20mシャトルラン、立ち幅とびが都平均より高い水準にあります。

●男子は、20mシャトルランの得点が低く、持久力に課題があります。女子は、長座体前屈の得点が低く、柔軟性に課題があります。

持久力と柔軟性の向上を目指します。持続的な短なわや持久走に取り組み、持久力を高めます。また、リラックスしてペアでのストレッチングや体ほぐしの運動に取り組み、柔軟性を高めます。

5年生の結果概要

○男子、女子共に、長座体前屈、50m走、ソフトボール投げが都平均より高い水準にあります。

●男子は、20mシャトルラン、立ち幅とびの得点が低く、持久力と脚力に課題があります。女子は、握力、立ち幅とびの得点が低く、筋力、脚力に課題があります。

持久力と脚力の向上を目指します。持続的な短なわや持久走や馬とび、幅とびに取り組み、持久力を高めます。また、固定遊具を使った運動やタオル絞りなどの握る動きも取り入れ、筋力を高めます。

6年生の結果概要

○男子は、上体起こし、50m走、女子は、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げが都平均より高い水準にあります。

●男子は、反復横とび、20mシャトルランの得点が低く、俊敏性と持久力に課題があります。女子は、反復横とびの得点が低く、俊敏性に課題があります。

持久力と俊敏性の向上を目指します。持続的な短なわや持久走や馬とび、幅とびに取り組み、持久力を高めます。また、鬼ごっこやかけっこ、リレーを体育の授業の中に取り入れて俊敏性を高めます。